

上手な暮らし塾

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会

～青山町自治会～

今回は、子どもたちが元気に夏休みを過ごすために「三世代ふれあいラジオ体操」を行っている青山町自治会の市山芳樹会長からお話を伺いました。

「三世代ふれあいラジオ体操を始めたきっかけは？」

自治会長になってから、子どもたちのためにできることはないかと考え、子どもたちが元気に夏休みを過ごせればと、このラジオ体操を25年前から始めました。

毎回ラジオ体操の前に、けが防止のため、自治会役員が会場の落ち葉を清掃しています。今年7月21日から8月12日まで実施し、子どもからお年寄りまで毎日約50人の参加者でにぎわいました。



「密を避けるために工夫していることを教えてください。」

参加者同士の距離を取るため

に、会場に白線を引き、一人分のスペースが分かるようにしています。子どもたちは1度教えたらずぐに理解して、今では言われなくてもそれぞれのスペースに走って行き、笑顔で並んでいます。その元気な姿がとても微笑ましいです。

「コロナ禍が落ち着いたなら早く再開したい活動を教えてください。」

高齢者のためのレクリエーション・講話・食事会を行う「お楽しみ会」です。念のため参加者を2グループに分けて密を避けようと考えています。初めて開催した時、参加者がおみそ汁を食べ「おいしい。亡くなった妻のことを思い出す」と感激されていたことから、早く再開できればと考えています。

* * *

青山町自治会では、ほかに夏祭りやもちつき大会(コロナ禍で実施見合わせ)なども行っています。あなたも、地域の一員として自治会活動に参加してみませんか。

■問い合わせ

自治振興課 ☎829・1134

消費者

「香りのマナー」を意識しましょう

～柔軟仕上げ剤を使う時の注意～

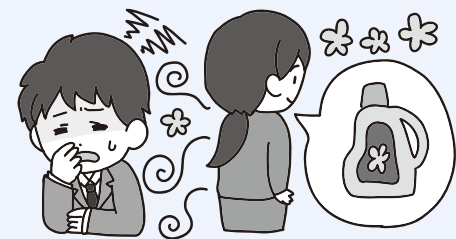
毎日のようにCMなどで見掛ける柔軟仕上げ剤。衣類の風合いを柔らかく保つためだけでなく、衣類に自分好みの香りを付けたり、洗濯物の部屋干し臭を抑えるために使っているかたも多いと思います。

柔軟仕上げ剤は私たちが快適な生活を送っていく上でとても役に立つものですが、使用に当たっては注意が必要です。

■香りの感じ方は人それぞれ
最近では香りに特色のある柔軟仕上げ剤も多く販売されていて、その香りは家庭内だけでなく、さまざまな場所で感じられるようになっています。

香りの感じ方は人それぞれで、柔軟仕上げ剤の香りを心地良いと感じるかたがいる一方で、「他人の衣服や隣家の洗濯物

の香りが不快に感じる」というかたもいて、中には頭痛など体調不良を訴えるかたもいます。



の香りが不快に感じる」というかたもいて、中には頭痛など体調不良を訴えるかたもいます。

■「香りのマナー」も意識を
柔軟仕上げ剤を使用する時は、香りの感じ方には個人差があることを念頭に、周囲への「香りのマナー」も意識しましょう。

柔軟仕上げ剤の使い過ぎは、香りが強くなり過ぎるだけでなく、衣類の吸水性が落ちたり、黒ずみの発生につながる場合もあるため、製品に記載された使用量の目安を守って正しく使用することが大切です。

また、商品を選ぶ際は、パッケージなどに記載されている「香りの強さの目安」を参考にしましょう。

柔軟仕上げ剤の「使用量の目安」表示のイメージ

※内容や数値は製品ごとに異なります

洗たく物量に応じた使用量の目安を守ってお使いください。

洗たく物量の目安	参考)水量の目安	使用量の目安 (キャップの目安)	衣料1kgに対し7ml
6.0kg	65L	1杯(40ml)	
4.5kg	55L	0.8杯(30ml)	
3.0kg	45L	0.5杯(20ml)	
1.5kg	30L	0.3杯(10ml)	
洗いおけ	衣料0.5kg	3ml	



■問い合わせ

消費者センター ☎829・1234